



天然素材「和紙糸」の製造

衣料用、インテリア用、絨毯の糸製造販売業。日本古来の伝統をふまえ、天然素材の和紙を利用し、当社の「和紙のスリット及び撚り技術」を活用して和紙糸の製造を開始した。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

青山繊維加工は今までに様々な素材で糸加工をし、糸に風合い、機能性、加工性等いろいろな機能を付け加えることを追及して来た。和紙糸(わしいと)の開発は、文献等を参考にしながら研究中、日本には紙子という和紙の着物の伝統があり、紙は夏涼しく、冬暖かい素材なのでこれを糸に加工したら面白いと思ったことがきっかけとなっている。紙が本来の目的以外に利用されるようになり、もともと樹皮を原料にして製造されている和紙は、衣料として利用されるようになった。紙衣の原料には特に粘り強い紙を必要とし、十文字漉きされた繊維の絡みが強い、美濃十文字紙など上質で厚い和紙が使用された。和紙糸の特長としては、比重が軽い。さらとした風合いがあり、通気性がある。水分を吸収して温度や湿度を調整する。強度がある。化学物質を吸収する。などがあり、様々な用途に利用できると思った。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

和紙糸は今まで業界では抄織糸(しょうせんし)として知られていた。抄織糸はみつまたやこうぞなどを原料に、基本的に手で漉いて作られた和紙を糸にしたものである。和紙を2~5ミリ幅に裁断し、特殊な装置で撚りをかけて糸にする。

成果のあったこととしてはこの抄織糸を和紙糸(わしいと)と命名したことにより、一般に人に知られるようになったことである。和紙をスリットすることにより、普通の繊維と変わらないものにする。紙だけでは水に弱い。紙の特色としては、軽いコシがある、引っ張りに強い等がある。この特色を生かし、毛、綿、合繊等と組み合わせることにより、嵩高性、通気性、保温性が良いものを作る。

困難だったことは、薄い紙をスリットすることで、スリット業者にも投資し、スリットできる機械、撚糸機も開発した。

業況等について

本業の業況はやや好調で、昨年並み。特殊な糸を作っていて、全国的に出しているので景気の影響も受けにくい。

新規参入事業に関しては、現在、売上高は20,000千円(売上高構成比約10%)と、業況的にはやや好調である。インテリア用、壁紙、紳士・婦人服地、肌着用の紙糸として販

路が拡大している。

今後の展望・見通し

今後は拡大方針をとる予定である。海外にない物として差別化を図りたい。天然、健康志向の高まりにより、化学物質の吸着効果が認められ、面積の大きい壁紙に、多く使われるようになった。

服飾の生地としても、天然繊維の長所を生かし、汗をかいてもベタベタしないし破れない。夏の背広、婦人服、肌着としても好評である。

メリット・デメリット

メリットとしては繊維業界以外にも、商売の幅が広がる。

デメリットは研究開発にかなり費用がかかり、それがうまくいかなければどぶにお金を捨てるようなことになる。

異業種参入時のアドバイス

先見的な考えを常に持っていることが必要。従来のものにしがみついてもしょうがない。自分達の持っている技術はこういうものだというアピールが必要。

新しいことをやったからといって、必ず成功するわけではない。もしやってもやらなくても50対50の成功率なら、やった方がいいと考えてやってきた。やることを決めたら途中でやめないことが大事である。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度書類等の準備が面倒なのでやっていない。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

この企業がこういう技術を持っている。また、こういうことを欲している、こういうことで困っているというような企業情報を流すことをしてもらいたい。

会社概要

設立:昭和58年3月

資本金:5,000千円

従業員数:5名

URL: <http://www.moffy.net>